

H28年9月定例議会報告

●宿泊施設誘致条例が可決（賛成全員）

宿泊施設を新設する事業者に対し奨励措置を講じ、町の観光振興・にぎわい創出・雇用創出を図るために条例を制定。

- ・固定資産税奨励金：土地及び建物に係る固定資産税に相当する額を交付（5年間）
- ・借地料奨励金：土地借地料の2分の1に相当する額を交付（上限年間500万円を5年間）
- ・雇用促進奨励金：町内雇用者の人数に30万円を乗じた額を交付（上限600万円を1回）
障がい者が含まれる場合、一人当たり30万円加算（上限150万円）



◆議員提出議案：「自治体情報セキュリティ強化対策用ハードウェア・ソフトウェアの購入について」並びに「町立小・中学校の校務用コンピュータ等の購入について」の附帯決議が可決（賛成全員）

『どちらも物品購入の指名競争入札であるが、ともに5者指名し、3者が辞退、1者が無効となり、結果1者のみの応札。辞退、無効等により実質1者のみの応札とならないよう業者選定基準等関係規則を見直し、入札制度の改善を早急に行うこと。』を決議する。

◆「国民健康保険・都道府県化の大阪方式を中止すること等を求める請願」の継続審査

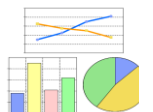
平成28年9月定例議会閉会から平成28年12月定例議会開会まで継続審査（賛成全員）



●平成27年度一般・特別会計歳入歳出決算が認定（賛成多数）

<熊取町平成27年度決算報告>

*一般会計	歳入：133億4,852万4,420円	歳出：132億5,028万3,345円
*一般・特別会計	歳入：241億2,370万7,812円	歳出：240億4,356万4,741円
*実質収支（一般会計）	5,295万8千円の黒字	
*実質収支（一般・特別会計）	3,486万円の黒字	
*町債総額（27度末現在高）	155億7,942万円（前年度より3億1,954万8千円減）	
*基金総額（27度末現在高）	43億5,593万1千円（前年度より2億5,543万9千円増）	



※決算審査特別委員会で、熊取公明党からは二見裕子議員が会派を代表して、施策の成果と取り組みについて質問し、一般会計決算について下記の10項目の意見要望を述べました。

1. 徹底した自主財源の確保
2. 小中学校普通教室への空調設備の導入、洋式トイレの整備
3. 路側帯のカラー化、道路舗装修繕計画の実施
4. 妊娠期から子育て期までの切れ目のないサポート体制の充実
5. きめ細やかな相談体制と放課後子ども教室の全小学校での取り組み
6. 防災・減災対策の充実
7. がん検診の受診率の向上
8. ひまわりバスの駅への乗り入れ
9. BNCTの早期実用化への推進
10. 損害賠償金と遅延損害金の全額納付獲得への取り組み



公明党提案の意見書が採択され、関係省庁の各大臣に提出されました！

◆無年金者対策の推進を求める意見書

無年金者対策は喫緊の課題であることから、年金の受給資格期間を25年から10年に短縮する措置について、2017年度中に確実に実施できるよう必要な体制整備を行うこと。

